

鹿児島市

火山防災トツプシティ構想

【第2回 検討委員会】

「防災強化」

既存の取組

火山灰の除去対策



克灰袋と宅地内降灰指定置場



散水車



ロードスイーパー

土石流対策(治山・砂防ダム)



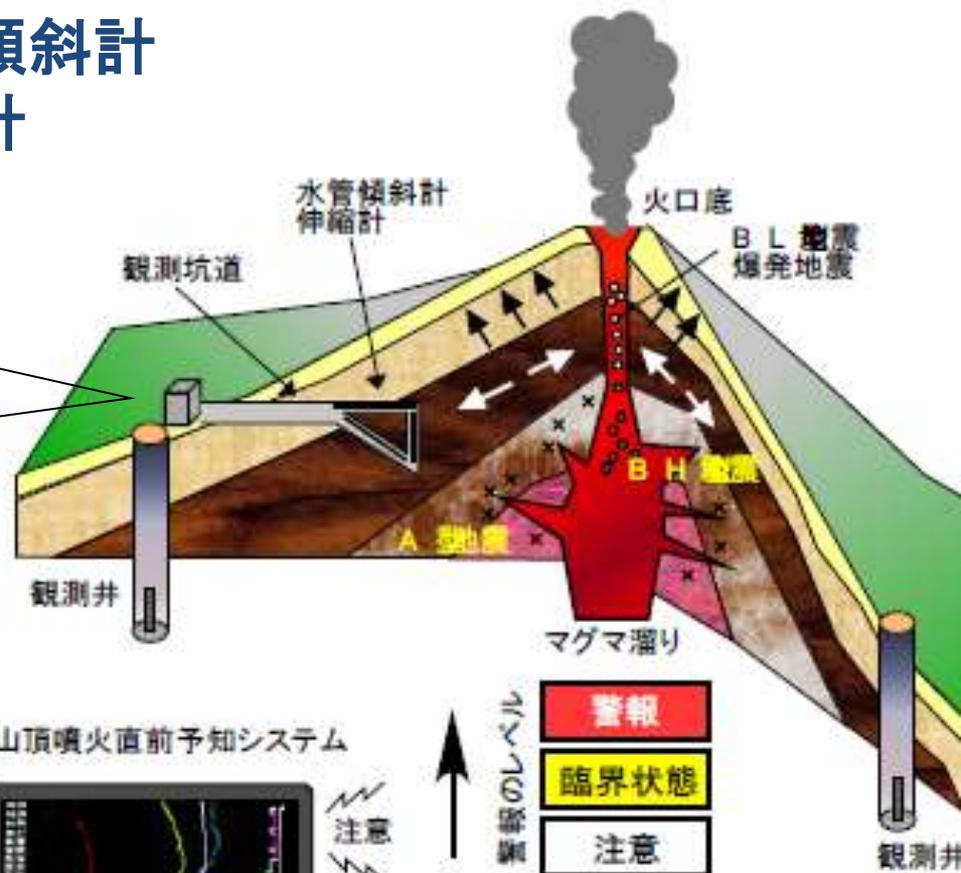
降灰予報



桜島火山活動観測体制



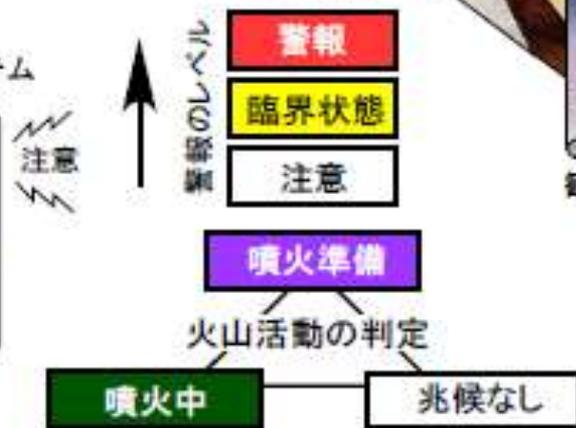
- ・水管傾斜計
- ・伸縮計



観測坑道



山頂噴火直前予知システム



広域的な避難計画



避難施設

退避壕



32基

噴石や降灰から一時的に避難する施設

退避舎



20棟

島外避難の際、避難用の船舶が避難港に到着するまで、一時的に避難する施設

避難港



22港

島外避難の際、避難用の船舶が接岸する港

ハザードマップ

桜島火山ハザードマップ

マップ作成の目的

この桜島火山ハザードマップは、住民の皆様が桜島の過去の大規模噴火の状況や今後の火山災害の危険性を事前に把握し、日頃の備えや緊急時の速やかな避難に役立てていただくために作成したものです。日頃から目に付くところに掲示してください。地域の皆様で緊急時の行動を話し合い、前兆現象や噴火状況に注意しましょう。

No.	施設名	No.	施設名
1	桜島消防センター	19	桜島保健所
2	消防団	20	桜島支庁
3	桜島ユースホステル	21	桜島市立図書館
4	桜島センタービル	22	高野町立センター
5	桜島公民館	23	高野町立センター
6	桜島中学校	24	高野町立センター
7	高野小学校	25	高野町立センター
8	高野幼稚園	26	高野町立センター
9	高野保育園	27	高野町立センター
10	高野公民館	28	高野町立センター
11	高野公民館	29	高野町立センター
12	高野公民館	30	高野町立センター
13	高野公民館	31	高野町立センター
14	高野公民館	32	高野町立センター
15	高野公民館	33	高野町立センター
16	高野公民館	34	高野町立センター
17	高野公民館	35	高野町立センター
18	高野公民館	36	高野町立センター



わが家の避難先や緊急時の連絡方法などを書き込みましょう。

わが家の避難先は・・・
(記入欄)

わが家の避難先は・・・
(記入欄)

緊急時の連絡先は・・・
(記入欄)

住民避難マニュアルの作成・配布

大規模噴火の際の避難手順

チェック 1 異常を感じたら

異常(前兆現象)を感じたら、**危機管理課(216-1513)**や**消防(119番)**等に連絡する。
【大規模噴火の前兆現象の例】

①地面が一日に何度も発生する
②地鳴りがする
③井戸水、湧泉の水位や温度などがいつもと違う
④新しい噴気、地温の上昇、地割れ
⑤草木の立ち枯れなど

噴火警戒レベル3
避難情報はありません

チェック 2 避難準備が出たら

要配慮者(避難に時間がかかる高齢者や観光客など)は、**避難を開始する。**

避難準備(避難勧告発令前)の段階で、**事前の避難(自主避難)を行う場合は、避難用家族カードを分団長・副分団長に提出する。**

家族カードを提出できない場合は、**電話で連絡する。**(既に避難した方も、電話で連絡)

行政からの情報
防災行政無線、消防車、テレビ、ラジオ、メールでお知らせ

避難準備・高齢者等避難開始
噴火警戒レベル3→4

◆桜塚分団
【連絡先: _____】

チェック 3 避難勧告が出たら

住民は、**避難を開始する。**

救難船舶(フェリー)での避難は「**野尻港**」、**バス**での避難は「**桜島国際火山砂防センター**」に集合する。

非常持出袋、避難用家族カードを持参する。

ペットも一緒に避難する。

隣近所に声をかけながら、**お互い協力して全員が安全に避難する。**

退避舎等で消防団員に**避難用家族カード**を提出する。

※ 避難勧告が出たら桜島フェリーは人、ペットのみ乗船可能(自動車の乗船はできません)

噴火警戒レベル4→5
避難勧告

野尻町

チェック 4 避難指示が出たら

避難誘導者の指示に従い、速やかに**退避舎等**への移動を完了する。

救難船舶に乗り遅れた場合は、近くの拠点港(桜島港、白浜港、湯之港)に移動する。

身の危険が切迫しているときは、コンクリートの建物等の頑丈な建物に避難する。

噴火警戒レベル5
避難指示(緊急)

チェック 普段からの準備

普段から避難に備えて非常持出品などを準備しておきましょう。(避難生活の長期化も想定して備えましょう。)

家族との連絡方法について確認しましょう。

●貴重品 ●食料、水 ●留守電 ●印刷品
●服用薬 ●ヘルメット ●懐中電灯 など

避難経路と避難に要する時間

自宅・職場など

徒歩 野尻港 各自確認

フェリー(桜島丸) 98分

バス 5分

桜島桟橋

徒歩 桜島国際火山砂防センター 各自確認

バス* ※フェリーが使えない場合
A 38分 B 84分

広域一時避難所

バス A 147分 B 73分

自家用車

避難所

鹿兒島中央高校
公の宿泊施設など
仮設住宅など

■広域一時避難所
A 垂水市中央運動公園
B 霧島市運動公園

■避難所
①市街地側...鹿兒島中央高校
②代替北部...吉田北中学校・吉田校区コミュニティセンター
③代替南部...谷山北中学校

住民の避難状況把握

取扱注意

平成29年4月1日現在

基準日 H29.4.1

性別	要支援者※	避難に支障が必要	入院(所)中	年齢	電話番号	ペットや家畜 種類 匹・頭数	備考	班
女		必要		88歳	293-2222		長女090-****-****	桜島-1
男				64歳	090-8888-0000			桜島-2
女				68歳	293-1111			桜島-3
男				62歳	259-0000			
女	◎		入所	95歳	080-5555-4444		桜島苑	
女			車椅子	66歳			避難生活に介	
男				85歳	090-9999-8888			
女			車椅子	89歳			避難生活に介	
男				67歳	090-7777-7777			
女				42歳				桜島-10
男				33歳	090-2222-3333			桜島-11
女				37歳	090-0000-0000			桜島-12
女				10歳				桜島-13

〇〇さん

桜島-1

900600111 桜島-1

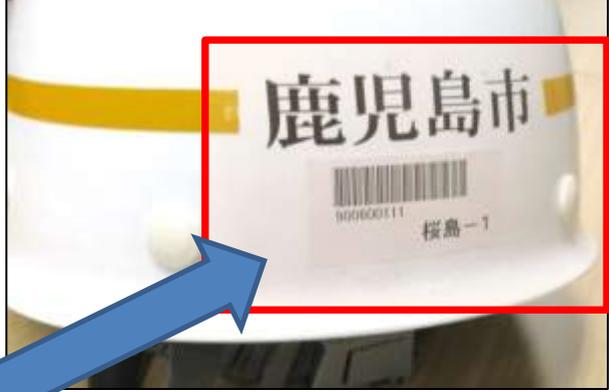
900600112 桜島-2

900600113 桜島-3

900600114 桜島-4

900600115 桜島-5

900600116 桜島-6

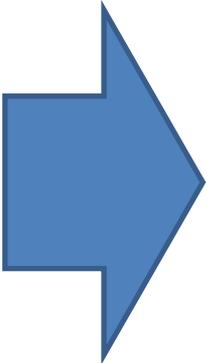


住民のみなさまそれぞれに、個人情報保護の観点から、自治会ごと、個人ごとの番号を割り振っています。

避難促進施設の対応

全94施設から以下を考慮し、34施設を候補として選定

- ① 情報伝達、避難誘導が可能な管理人等が常駐(昼間のみも可)している施設
- ② 国、県、市等が所有又は管理する公共的な施設
- ③ 観光客が多く利用する施設
- ④ 要配慮者、要支援者が利用する福祉施設、教育施設、病院
- ⑤ 主に住民が利用する施設、コンビニ等小規模な施設は**除く**



29年度の実施

- ・防災研修会の開催(5月)
 - ・防災訓練の実施(11月・1月)
 - ・避難確保計画の策定支援(随時)
- ※ 34施設すべて策定済み

長期避難対策

【短期】

(初日～1週間程度)

体育館や公民館



【中期】

(1週間～2か月程度)

公共の研修施設等



【長期】

(2か月～)

仮設住宅



健康相談・メンタルヘルスケア



生活支援相談

家畜避難対応



毎年1月12日に避難訓練を実施(通算48年)

フェリーによる避難



バスでの避難

住民による避難所運営訓練



エコノミークラス症候群の説明



引継ぎ訓練



段ボールベッドの作成



バーコードでの受け入れ

防災関係機関等と連携して検討



防災関係機関等との連携

桜島火山防災連絡会（2か月に1回程度）

- 鹿児島県
- 京都大学防災研究所火山活動研究センター
- 鹿児島大学地震火山地域防災センター
- 鹿児島地方気象台 ● 大隅河川国道事務所
- 鹿児島市 ● 垂水市



積極的な視察（インドネシア）

